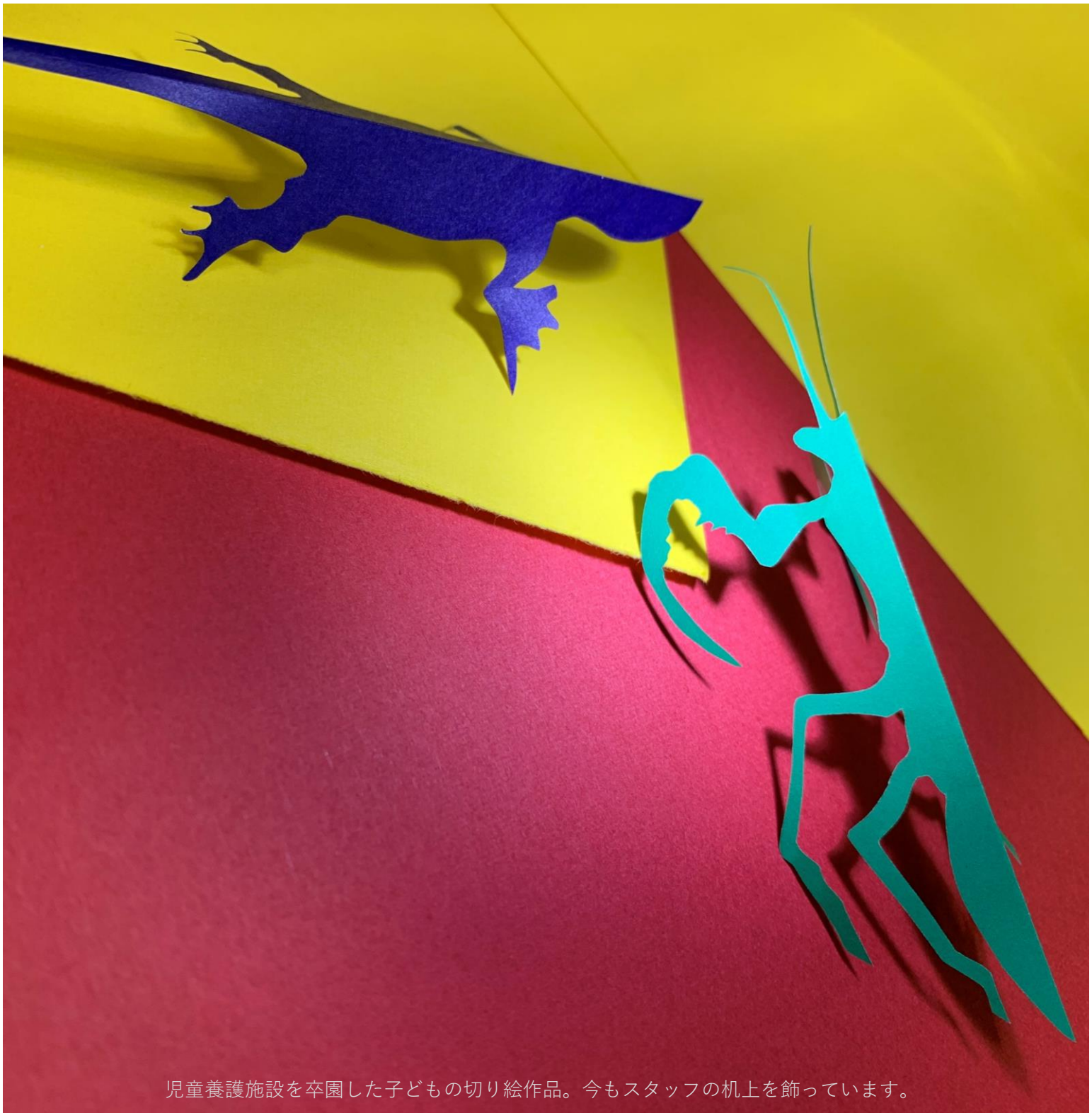




児童養護施設を卒園した子どもの切り絵作品。今もスタッフの机上を飾っています。

社会福祉法人共生会 2020年度 年次報告書



■児童養護施設「希望の家」

新たな挑戦と、日常の尊さを実感した一年

コロナウイルスの影響で、施設内の行事や会議、ボランティア活動等も中止となることが多く、これまでにない施設運営となりました。オンラインを用いた会議、行事、人材確保等を行ったり、工夫して遊ぶ子どもたちの姿も見られました。

■児童養護施設「松風荘」

困難な中から活路を見出す

対面でなければ出来ないと思われていた、面会、子どもの体験学習、職員の研修などが、オンラインで実施出来ました。アフターコロナでも、遠方の施設でも、対面による面会を補えるツールとして活用出来そうです。

■児童養護施設「伊豆長岡学園」

台風19号被害復旧工事、無事完成

2019年10月、施設の全面建て替え工事が完成して1か月も経たないうちに、台風19号により床上浸水してしまいました。山側からの浸水対策として丈夫な水路が完成し、床上浸水した箇所もすべて補修工事が完了し綺麗な施設に生まれ変わりました。

■母子生活支援施設「ふたばホーム」

つながる・ひろがる

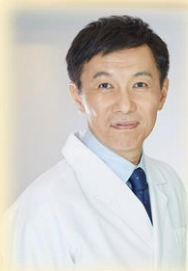
新型コロナウイルスの流行で大変な1年でしたが、公的機関をはじめNPO等の皆様からたくさんのご支援をいただき、ご支援の輪や温かいお気持ちがつながり、ひろがりました。皆様のお気持ちに心から感謝いたします。

■母子生活支援施設「江戸川区そよ風松島荘」

皆で乗り越えた一年

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、仕事や学校・保育園に行けない日もありましたが、利用者・職員共に協力して乗り越えました。少しでも明るい気持ちになれるよう施設内に季節を感じる装飾をしたり、親子で楽しめる機会の提供等の工夫をしました。

困っている人と共に生きる



社会福祉法人共生会
理事長 福島 俊彦

新型コロナウイルス感染症という未曾有の経験の最中、感染予防策を遵守し、利用者の皆様、職員の健康管理を進めて参りました。その一方で、自粛生活による心身ストレスと向き合うという新たな課題も浮き彫りになりました。さらに、この感染症がもたらしている社会の変化を目の当たりにし、改めて共生会の基本理念である「困っている人と共に生きる」の意味、意義を深く考えさせられる一年でもありました。

そのような、混沌とした社会状況ではありますが、共生会では、職員一丸となり、児童から高齢者が直面する様々な社会課題の解決を、支援者の皆様、地域の皆様、行政の皆様と協働して行っています。



児童養護
施設

希望の家

松風荘

伊豆長岡学園

母子生活
支援施設

ふたばホーム

江戸川区
そよ風松島荘

中野区
さつき寮

認可保育所
(夜間保育)

白鳥ふたば
保育園

特別養護
老人ホーム

東四つ木
ほほえみの里

学童保育クラブ

《千代田区・アフタースクール》
さくら／さくら第二
こうじ町
番町／番町第二

《葛飾区・学童クラブ》
松上／第二松上
上小松／第二上小松
木根川

■母子生活支援施設「中野区さつき寮」

「創意工夫」～新しいアイディアを出し、工夫する発想力～

「自粛」「制限」「禁止」という言葉があふれる中で、職員一人ひとりが「できる事」をたくさん考えました。いつもと違った支援や行事でも笑っている子どもと母を見て、その時その時の最善が尽くせたと感じました。

■認可保育園（夜間保育所）「白鳥ふたば保育園」

創意工夫で安全と元気を取り戻した年

臨時休園や感染予防対策を徹底することで、例年より体調を崩す子が少なく、感染者も出さずにすみました。新しい生活の仕方にも慣れ、制限のある中でも工夫をして楽しく園生活を送ることができました。ホームページが新しくなり、保育園の情報を広く配信しています。

■特別養護老人ホーム「東四つ木ほほえみの里」

コロナ対策とチャレンジ

毎日の施設内消毒、ご家族の面会制限、利用者様の余暇活動の縮小など、コロナ対策に終始した1年でした。このような状況下、利用者様の楽しみ・ご家族の安心の確保、施設運営のための各種補助事業の活用など、チャレンジしました。

■学童保育クラブ 千代田区・葛飾区

大切な放課後

感染防止策を徹底した新しい生活様式のもとでも、放課後は子どもたちの「ただいま!」という元気な挨拶と笑顔に満ち溢れていました。「楽しかったね!明日も〇〇して遊ぼうね」と言葉をかけ合っている様子に、放課後がどれだけ大切な時間であるかを改めて感じました。



児童養護施設とは

児童福祉法に基づいて、乳児を除く保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童をお預かりして養護し、あわせて退所した子どもたちに対する相談、その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設です。



松風荘

静岡県沼津市 定員：30名
＜本園・グループホーム3か所＞

施設の形態は開設時と大きく変わりましたが、沼津の地にて75年間、地域の方々に支えられながら現在に至っています。

新たな社会的養護のあり方である施設の小規模・地域分散化の達成まであと一歩です。

TOPICS

学校休校中は、外出も禁止されており、子どもたちは室内の遊びで汗を流しました。

子どもたちはオンライン工場見学を行い、その後、その工場で作られた材料を使い調理実習を楽しみました。

職員は子どもたちとのより良い関係を築くために、オンライン研修で研鑽をつみました。



希望の家

東京都・葛飾区 定員：43名
＜ユニット2棟・グループホーム5か所＞

たくさんの方々に支えられながら成り立っている希望の家。子どもを第一に考え、安心と安全が守られた、家庭的なあたたかい環境を提供できるように職員一同努めています。加えて、地域への子育て支援の取り組みも行っております。

TOPICS

自立について考える中高生の研修（高齢児合宿研修）は46年目を迎え、初めてオンラインも活用しながらの実施となりました。

行事のオンライン化を進めました。グループ対抗でケーキ作りをしたり、異国の子どもたちと交流を行うこともできました。

人材確保については、Web面接等もいち早く導入し、例年になく広域から、そしてより多くの方にエントリーいただきました。



伊豆長岡学園

静岡県伊豆の国市 定員：51名
＜本園・グループホーム1か所・地域小規模児童養護施設（グループホーム）1か所＞

3か所の住まいに、定員51名の子どもたちが暮らしている伊豆長岡学園。子どもたちもスタッフも「ここに来てよかった」「いろんな人たちに会えてよかった」と心底実感できる施設づくりを目指しています。

TOPICS

子どもたちで計画をたてた徒歩旅行を2度行いました。

コロナ禍の影響で、計画通りの行事が困難となりましたが、コロナに負けない手作り行事に、学園の中にとってもよい活気と元気が生まれました。



入所前に大変厳しい経験をした子どもたちの入所が相次ぎましたが、「ここに来てよかった」とそれぞれ職員に話してくれました。



大変頑丈な防災水路が、山側敷地の境界に完成しました。





母子生活支援施設とは

児童福祉法に基づいて、18歳未満のお子さんのいる母子家庭等が生活できる施設です。母子の自立に向けて、子育てや生活のお手伝いをはじめ、退所した後もご相談に応じています。

 **ふたばホーム**
ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ

東京都・葛飾区
ふたばホーム：定員20世帯
ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ：定員80名

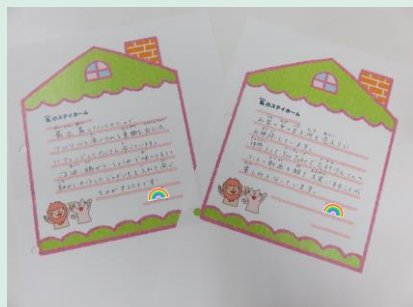
お母さんと子どもたちがいつも笑顔で、安全で安心した生活ができることを大切にしているふたばホーム。ふたば学童保育クラブ、第二ふたば学童保育クラブを併設しており、地域の子育て支援を担えるように努めています。

■TOPICS

ステイホームの1年でしたが、沢山のご支援の品をいただき、職員からお母さんや子どもたちへお手紙と一緒に贈りました。

ふたばホームのお母さんを対象に、子育てや人間関係に役立つ心理講座を実施しました。大変好評でした。

学童では、沢山の行事が中止となってしまいましたが、感染症対策をしながら、カードゲーム大会を行いました。



 **江戸川区そよ風松島荘**

東京都・江戸川区 定員：20世帯

利用者に寄り添い「大切にされている」と思えるような関わりを大切にしています。築50年以上の建物で、造りは共同部分が多い等の不便さがありますが、少しでも快適に生活ができるよう工夫し、利用者の方ひとり一人に合わせたオーダーメイドの支援を心がけています。

■TOPICS

地域の支援者の方々からたくさんの寄贈品を戴きました。皆様の温かいご支援とお心遣いに支えていただきました。

毎年行っている行事は、実施方法を工夫し、家庭ごとに縮小して行いました。親子の笑顔が印象的でした。

お母さんのリフレッシュ等を目的に、心理職員がアロマハンドソープ作り等の講座を10回行いました。毎回好評でした。



 **中野区さつき寮**

東京都・中野区 定員：19世帯

お母さんやお子さんそれぞれの想いに寄り添うさつき寮。家族全員が地域の中で安心して笑顔で暮らせるようにスタッフ全員でお手伝いをします。お子さんの年齢等によって1DK～2DKのお部屋で生活します。1年を通してお子さん、お母さんが楽しめる行事を企画しています。

■TOPICS

登校、登園ができない期間、少しでもおうちで過ごす時間が充実すればと、工作キットの提供や玩具の貸出しを行いました。

初めての試みとして実施した「ワンコインディナー」。夕食時にはさつき寮内により匂いが充満していました。

地域のひとり親家庭を対象とした子育て相談や、子育てに関する講演会等を3回実施できました。





子どもからお年寄りまで、地域の皆様と共に生きる地域密着の運営を日々行っています。すべての利用者の方のケアニーズに応えられるよう、専門性と質の高いサービスを提供出来るように心がけております。

特別養護老人ホーム 「東四つ木ほほえみの里」

特別養護老人ホーム：119ベッド
ショートステイ：11ベッド

特別養護老人ホームとは、常時介護を必要とし、在宅での生活が困難な高齢者に対して、生活全般の介護を提供する施設です。入浴、排泄、食事などの介護、その他の日常生活の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行います。

TOPICS

フロアー開催での行事の創意工夫として、納涼祭での千本引き、フロアー対抗運動会を実施しました。

接触機会を減らすためご家族の直接面会を禁止しましたが、オンライン面会や窓越し面会を実施しました。

初めて障害者雇用を行うとともに、国・都・区など各種補助事業に挑戦しながら、持続可能な運営を目指しています。



認可保育園（夜間保育所）「白鳥ふたば保育園」

東京都・葛飾区 定員：36名

0歳児から5歳児まで36名の規模の小さな保育園です。夜間保育も行っていますので、夕食を食べて安心して過ごせます。

たくましくしなやかに成長していけるよう、1クラス6名の少人数で保育を行っています。

TOPICS

秋の遠足は、上千葉砂原公園へ歩いて行き、動物を見たり固定遊具で遊んだり思い切り楽しんできました。

園庭畑で、ジャガイモやピーマンなどみんなで育てました。育てたものを食べることで、食への関心が高まっています。

クリスマス会は、ツリーを飾り幼児クラスのお友達が合奏や歌を披露し、サンタさんからプレゼントをもらいました。



学童保育クラブ

学童クラブ*1日平均 *緊急事態宣言を受け、4~5月は休止

葛飾：5学童クラブ合計200名/千代田：5学童クラブ合計220名

放課後子ども教室（遊び）*1日平均 *緊急事態宣言を受け、4~6月は休止

葛飾：1学校20名/千代田：3学校合計230名

千代田区・葛飾区から事業を委託され、10か所の学童を運営しました。利用者（子ども・保護者）の最善の利益を確保し、「安全・安心」を第一によりよい保育・運営をするため、学校や地域など幅広い方面からの意見要望を積極的に取り入れるよう努めています。

TOPICS

感染防止対策をしながらのおやつタイム。コロナ禍であっても、少しでも美味しく食べてくれるようお願いを込めて。

3月31日、共生会として番町・番町第二の運営が終了。16年間の思い出を込めてTシャツを作りました。

久しぶりに行事（夏祭り）ができました。輪投げで、子どもたちのお祭り気分もマックスに！



2020年度決算書類

法人単位資金収支計算書（抜粋版）
（自）令和2年4月1日（至）令和3年3月31日

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	事業活動収入計(1)	2,618,698,333	2,624,045,682	△5,347,349
	支出			
	事業活動支出計(2)	2,403,208,918	2,391,057,535	12,151,383
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		215,489,415	232,988,147	△17,498,732
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	334,144,200	336,014,060	△1,869,860
	支出			
	施設整備等支出計(5)	426,485,573	426,034,880	450,693
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△92,341,373	△90,020,820	△2,320,553
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	138,702,202	141,905,575	△3,203,373
	支出			
	その他の活動支出計(8)	199,680,806	213,866,292	△14,185,486
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△60,978,604	△71,960,717	10,982,113
予備費支出(10)		33,835,388	—	33,835,388
0				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		28,334,050	71,006,610	△42,672,560
前期末支払資金残高(12)		615,712,436	615,712,436	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		644,046,486	686,719,046	△42,672,560

法人単位貸借対照表（抜粋版）
（自）令和2年4月1日（至）令和3年3月31日

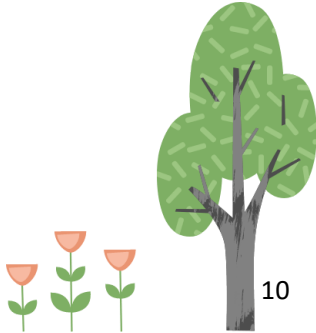
資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	805,516,697	814,140,871	△8,624,174
固定資産	3,542,394,073	3,158,287,068	384,107,005
資産の部合計	4,347,910,770	3,972,427,939	375,482,831

負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	179,421,516	259,223,243	△79,801,727
固定負債	85,947,900	80,077,156	5,870,744
負債の部合計	265,369,416	339,300,399	△73,930,983
純資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
基本金	619,777,986	619,777,986	0
国庫補助金等特別積立金	1,034,020,337	1,079,220,939	△45,200,602
その他の積立金	523,882,880	463,536,854	60,346,026
次期繰越活動増減差額	1,904,860,151	1,470,591,761	434,268,390
純資産の部合計	4,082,541,354	3,633,127,540	449,413,814
負債及び純資産の部合計	4,347,910,770	3,972,427,939	375,482,831

法人単位事業活動計算書（抜粋版）
（自）令和2年4月1日（至）令和3年3月31日

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	サービス活動収益計(1)	2,547,960,832	2,394,415,969	153,544,863
	費用			
	サービス活動費用計(2)	2,439,509,942	2,310,616,891	128,893,051
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		108,450,890	83,799,078	24,651,812
サービス活動外増減の部	収益			
	サービス活動外収益計(4)	76,187,855	14,175,476	62,012,379
	費用			
	サービス活動外費用計(5)	13,642,001	13,675,993	△33,992
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		62,545,854	499,483	62,046,371
経常増減差額(7)=(3)+(6)		170,996,744	84,298,561	86,698,183
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	338,366,295	80,068,486	258,297,809
	費用			
	特別費用計(9)	14,748,623	73,052,889	△58,304,266
特別増減差額(10)=(8)-(9)		323,617,672	7,015,597	316,602,075
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		494,614,416	91,314,158	403,300,258
法人税、住民税及び事業税(12)		0	5	△5
法人税等調整額(13)		0	0	0
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)		494,614,416	91,314,153	403,300,263
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	1,470,591,761	1,390,469,931	80,121,830
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	1,965,206,177	1,481,784,084	483,422,093
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	130,124,920	76,320,460	53,804,460
	その他の積立金積立額(19)	190,470,946	87,512,783	102,958,163
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	1,904,860,151	1,470,591,761	434,268,390

本決算書類は「法人単位」のものであり、抜粋版です。
詳細は、各ウェブサイトをご覧ください。



SDGsへの取り組み

近年、国連の提示するSDGsが注目を浴びています。SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2030年までに達成すべき国際社会共通の目標です。私たちも5つのゴールの課題解決の一助となるべく、社会福祉という分野の中で、皆さまとともにさまざまな社会課題を解決していきたいと考えています。

ゴール1：貧困をなくそう

ゴール3：すべての人に健康と福祉を

ゴール4：質の高い教育をみんなに

ゴール16：平和と公正をすべての人に

ゴール17：パートナーシップで目標を達成しよう



■■企業の皆さまへ■■

社会的養護を必要とする母子や高齢者、子どもたちへのご支援は寄付だけに限らず、住居として使用している施設内設備のメンテナンスや、本やおもちゃなどの物品提供、子どもたちの体験型活動のご提供など多岐にわたります。皆さまの社会貢献ポリシーに応じて柔軟に対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

ご支援の方法

寄付で応援

共生会では、広くご寄付のお願いをしています。共生会が運営する各施設で暮らす方々、また社会に巣立とうとする子どもたちを応援してください。お振込みやクレジットカード決済、また施設ごとへのご支援も受け付けておりますので、是非ご相談ください。



物品で応援

電化製品や家具・オフィス用品、車輛などの施設設備のほか、食品や子どもたちの遊具、医療消耗品など、さまざまな形のご協力を受け付けています。金銭以外のご支援方法について、是非ご相談ください。※ウェブサイト「欲しいものリスト」を公開しています。



遺贈寄付



大切な資産やその一部について遺贈寄付のご相談を受け付けています。遺贈寄付には公的な書類の作成などがありますので、専門機関をご紹介します。お気軽にご相談ください。

※当法人へのご寄付は、確定申告時に申告することで税の優遇を受けることができます。



⇐ 寄付についてはこちら



社会福祉法人共生会

〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木1-12-17

TEL：03-5671-1280 FAX：03-5671-1285

Mail：info@swc-kyouseikai.org ホームページ：https://www.kyousei-kai.com/

